

## 5月16日：ベトナム株はなんとか上昇トレンドを維持

火曜日にベトナム株は前日終値付近で横ばいになった。キャッシュフロー的には警戒感が高まっており、利益確定圧力も強くなっていることで相場の上昇トレンドの重しとなっている。

ホーチミン取引所のVN指数は0.02%高の1,065.91ポイントで取引を終えた。

169銘柄の上昇に対して200銘柄は下落した。出来高は11.3兆ドン、売買代金は6.81億株だった。

外国人投資家は60億ドンの売り越し、直近の15営業日中の12日で売り越しとなっている。

投資家の警戒感が高まっており、短期的な利益確定圧力が強くなっている。流動性の増加と共に指数は横ばいとなっている。

売り手は高値に来ると利益確定に回っていることを示している。VN指数は1,060ポイントを試すだろうとロンベト証券はコメントした。

一方、1,060ポイント付近でのサポートは期待でき、その後は反発も考えられる。そのため、投資家はテクニカル的に買いで資金流入のある銘柄は保有し続けることができると同社は勧めた。

VN30指数は0.12%安の1,069.64ポイントで取引を終えた。VN30指数採用銘柄では13銘柄が下落、13銘柄が上昇、残りの4銘柄は変わらずだった。

VN指数を下押ししたのはビンググループ（VIC、2.8%安）、VPバンク（VPB、1%安）、マサングループ（MSN、1.1%安）などだった。一方、押し上げたのはベトコムバンク（VCB、1%高）、ビンホームズ（VHM、1%高）、ビナミルク（VNM、1%高）などだった。

ハノイ取引所のHNX指数は214.61ポイントで取引を終えた。0.14%高だった。

出来高は9,300万株、売買代金は1.4兆ドンだった。

ロンベト証券のアナリストによると、第1四半期決算で企業の利益は前年同期比で16%以上の減少となっている。工業団地、商業用不動産賃貸、観光といったわずかなセクターのみが成長している。

それらの成長セクターは昨年は新型コロナによる影響を大きく受けていたため、そこからの反発は理にかなっていると同氏はコメントした。

一方、小売、金融サービス、化学、自動車部品、建設、建設資材といったセクターでは60-80%の利益減となっている。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。